

発 行

福井県大野市天神町番1号
大野市役所
電話(代)6-1111
郵便番号912
印刷 松浦印刷所



1月の人口の動き

出生	男 30	女 34	計 64
死亡	〃 17	〃 20	〃 37
転入	〃 29	〃 45	〃 74
転出	〃 41	〃 27	〃 68
世帯数	10,235(前月-2)		
人口	42,699(前月+33)		
男	20,552	女	22,147



ホラ、春の足音が

シャクナゲ若芽を伸ばす

温室栽培して4年で出荷

高山の花シャクナゲを実生から生産しようと意気込んでいる若者がいます。

上森目の松田市郎さん(34歳)で、彼の550平方メートルの温室には屋久島やアルポレウムなど和・洋種約50,000本が所狭しと並べられ、その1本1本が軟らかな緑の葉を伸ばして、一足早い春の息吹に浸っています。

シャクナゲの生産は昭和47年4月から始めました。その動機は、切り花用の菊作りと並行して生産ができしかも手間を掛けず、大野の土地条件に適した花作り

を研究することになったとのこと。

寒冷の地に生育するシャクナゲを、温室で育てる理由を尋ねますと「自然に育った木は約15年かからないと花が咲きませんが、人工栽培によって、4年で立派な花の咲く商品にするのがねらいで、いよいよことしの春は初出荷です」とピンセットで除草をしながら、自信のあるところを語っていました。

ホラ、春の足音がもうそこに……。

(写真はハウス管理をする松田市郎さん夫妻)

26人の新市議会議員決まる

市民の期待を担って



任期満了に伴う市議会議員選挙は、2月16日午前7時から市内25カ所で一斉に投票が行われ、即日開票の結果、17日午前2時30分に26人の新議員が決まりました。

身近な選挙であり、しかも26議席を33人で争う激戦であっただけに有権者の関心が極めて高く、一日中雪が降り続き冷え込みの厳しい日でしたが、投票率は90.39%と前回は1.25%上回る良い成績でした。

午後8時から市役所で行われた開票には、約2,000人の市民が集まり9時から20分ごとに発表される開票速報に見入っていました。

午後11時20分には24人の当選が決まりましたが、残る2議席を3人の候補者が同数あるいは0.5票差で争うこととなり、さらに最後には26位と次点が同数のため、公職選挙法第95条第2項の規定により、抽選で当落を決めるという、市制発足以来例を見ない厳しい選挙になりました。

候補者別の得票数

当選	兼井 藤波	1,172	票 (新)	当選	角本 守	806	票 (現)
〳	茨山 善三	1,152	〳 (現)	〳	高田新左衛門	802	〳 (元)
〳	山本 武	1,112	〳 (〳)	〳	斉藤 秀雄	787	〳 (現)
〳	山崎 正昭	1,017	〳 (新)	〳	米村 喜六	768.432	〳 (〳)
〳	杉川 栄	1,016.315	〳 (現)	〳	高津 靖生	740	〳 (〳)
〳	西川 文人	1,011	〳 (新)	〳	石蔵 一郎	732	〳 (新)
〳	安田 武雄	959	〳 (現)	〳	奥村 忠光	728	〳 (現)
〳	宮本 弘	929	〳 (〳)	〳	米村 武	689.567	〳 (〳)
〳	村中 清	925	〳 (新)	〳	平間 源治	689	〳 (〳)
〳	杉本 夏男	912	〳 (現)	次点	笹島 真一	689	〳
〳	金森 幸蔵	884	〳 (元)	〳	塗茂 光夫	674	〳
〳	栄 正夫	855.684	〳 (現)	〳	林 保信	673.003	〳
〳	大葭原 登	846	〳 (新)	〳	羽生 長	673	〳
〳	林 達也	839.996	〳 (現)	〳	北山作右衛門	615	〳
〳	脇本 義昭	839	〳 (新)	〳	石田 政治	552.039	〳
〳	推井 清男	827	〳 (現)	〳	内田 昭二	39	〳
〳	石田 善徳	818.960	〳 (〳)				

選挙の記録

- ▶ 当日の有権者数 男13,965人
女15,810人 計29,775人
- ▶ 投票者数 男12,544人 (89.82%)、女14,371人 (90.90%)、計26,915人 (90.39%)
- ▶ 有効投票 26,773票
- ▶ 無効投票 138票
- ▶ その他 4票

車いすの通れるまちに

栗下千代美さん 22歳 事務員 塚原

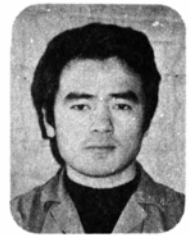


身近な選挙でしたのに、候補者は車で回るだけで、どの人がどんな考えをしているのかわかりませんでした。簡単なものでいいから新聞などで政治信条を知らせてほしかった。また投票所は重苦しい感じがしますので、入りやすいふん囲気づくりをしてほしいと思います。議員さんは私たちの代表ですから、常に市民との結び付きを大切にいただきたいし、社会福祉の充実、特に1人暮らしの老人に安らぎのある生活を、また身体障害者の住みやすい都市づくりとして、車いすの通れる道路の整備を望みます。

選挙公報がほしい

牧野正樹さん (22歳 農業 中野町)

「お願いします」しか言わない選挙運動には、大へん悲観しています。立合い演説会が必要ですし、これができなければ選挙公報がほしいです。また、地区推薦が依然として行われていますが、これは立候補の自由を制限するだけではなく、その地区に住む人の権利や自由を束縛します。他地域の人の推薦や支持運動をしたくてもできず、自分の1票だけにしか自由がない状態になります。新しい議員さんには、これから4年間に、市民が自分で判断して選べるような選挙のあり方をよく考えてもらい、次回には立派な選挙運動をしてほしいものです。



ふん尿生かす対策を

緑本敏也さん (42歳 農業 吉)

地区推薦には問題があります。区交代制で候補者を決めることは、代表としてふさわしい人に出てもらえない結果になるのでやめるべきです。これから4年間には地下水の問題をぜひ解決してほしいですし、市街地には駐車場を造り、気楽に買物などができるまちづくりの推進を望みます。また、市の発展は交通網を整えることにありますので、特に県道大野墨保線は国道昇格と相まって整備に力を注いでほしいですし、畜産のふん尿を積極的に土づくりに生かす、公共の施設をぜひとも造ってほしいです。



健康都市大野を目指して

鳥山一郎さん (60歳 商業 明倫町)



選挙祭りでは人が選べません。選挙公報がほしいですね。新しい議員さんに望む第1は、飲料水のおいしい大野、の特徴を守ってほしい。上水道も結構だが、

地下水問題は、何が市民のための問題解決になるかをよく検討して、市民が納得のいく抜本的な対策を立ててほしい。第2は市街地に駐車場を増やして、ゆとりのあるまちづくりを進めてほしいこと。

第3は昭和56年の冬期国体もうわさされていますが、健康都市大野、を目指してスポーツ施設の充実を望みます。

県議選立候補予定者説明会は3月13日

4月13日に行われます県議会議員選挙の大野市・大野郡、勝山市選挙

区の立候補予定者説明会が3月13日午後1時から大野市役所で行われます

市民インタビュー



開票速報を見る 2,000人の市民

地下水問題の解決を

山村裕子さん (38歳 主婦 泉町)



選挙運動期間中、各候補者から主義・主張をあまり聞くことができませんでした。連呼だけでは有権者が尊い一票を行使する材料にはなりませんので、中味の

ある運動をしてほしいものです。新議員さんに期待することは、各人が大野市のビジョンを持って、第1に地下水問題を解決してほしい。これには企業に水の循環装置の設置を勧めるとか、一定基準以上の水をくみ上げるものには料金を取りそれを対策費にする。そして自然と調和した都市づくりを推進してほしいと思います。第2は出かせぎをなくし、年間を通して仕事ができる農業の基盤づくりを期待します。

昨年、市長選、そしてこの市議会議員選挙で、はちの大野市の新しい体制ができました。市民はこの選挙運動期間を通して何を感じ、また新しい議員に何を望んでいるのかについてお聞きしましたので紹介しましょう。

市街地で775戸が井戸枯れ

全戸調査でわかる

1月10日からのドカ雪で市街地の融雪装置が一挙に働いたため、中旬から下旬にかけて、ついに井戸枯れが起きました。

市ではさっそく2月4日に職員51人を動員して、井戸枯れ状態と融雪装置の実態調査をしました。その結果、市街地6,169戸の12.6%に当たる775戸が一時的にもせよ生活水にこと欠く日々を送っていたことがわかりました。

また、井戸枯れした家庭の86%に当たる666戸の井戸の深さは5.5%未満の鋼管であり、その内の237戸は既に鋼管を1.5本以上に打ち直しており、175戸は近く工事する予定をしていました。

枯渴範囲が春日から新町までの市街地全域に広がったのがことしの特徴ですが井戸枯れ期間は4~10日間が全体の60%で一番多く、雪がやみ融雪装置が止まりますと、2~3日で回復していることがわかりました。

融雪装置の実態では、939戸の家庭に設置されており、昭和47年11月に比べますと3.2倍の普及率で、全体の15.2%になります。面積は107,624平方メートルで、こ

れに必要な水量は1日に約1万9,500トンと推定されます。

この一般家庭用と道路や工場などの融雪用水を合わせますと、市内で1日に6万1,100トンの水が必要になり、日常の工業用水に匹敵する水量が融雪用にくみ上げられていることが明らかになりました。

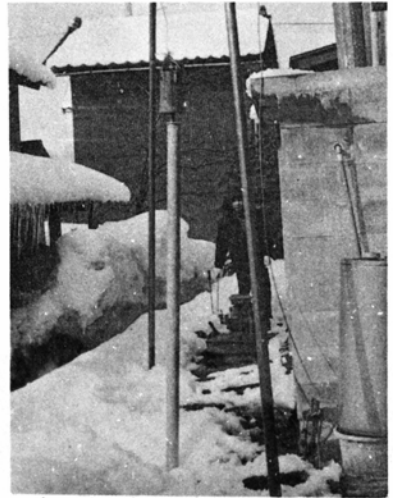
一市の地下水対策

循環装置に1億円の融資

市は過去5年間、地下水問題を重点施策の1つに揚げて、綿密な調査を続けてきましたが、今後もより一層積極的に取



寺島市長に答申書を渡す地
下水対策審議会長吉田森氏



1月中ひんぱんに行われた
鋼管打ち直し作業

り組む計画です。

1月には市地下水対策審議会から「かん養対策、合理的利用対策、の答申が

り、2月には水枯れ等の調査結果を得ていますので、昭和50年度から次の事項を具体的に進めていきます。

1. 工業用水の節水対策として、企業に水の循環装置の設置を勧めるため、総額1億円の融資をする計画で、3月の定例市議会に予算案を提出します。
2. 融雪設備のある工場・商店街・町内会の設備管理者連絡会をもち、地下水の合理的な利用を実現します。
3. 真名川・清滝川・赤根川の表流水調査・地下水の経年変化の調査・水質調

スマイル

「ひなまつり」

子供 アラ、紙で作った内裏びな
母親 これがほんとの代理びなヨ

4. 地下水位の観測を旧競馬場・陽明中学校・堂本・菖蒲地の4カ所で継続して行います。
5. 地下水対策審議会では、調査資料の検討や上水道の建設計画などを引き続き審議していきます。

昭和49年の統計

ゴミ量が減り資源活用のきざし

昨年1年間のゴミ収集・処理状況がまとまりました。収集対象は市街地の6,221世帯23,820人で、前年より世帯で1.5%、人口で7%増えています。

しかし、年間に処理したゴミの量は焼却5,905トン埋め立て2,007トンの計7,912トンで、前年より5.7%減りました。

これは1世帯当たりのゴミの量が1日平均3,486グラムで、前年よりも7.1%少なくなったためです。しかし、年間経費では総額が3,777万円で、1世帯

当たり6,072円となり、前年とは12%高くなりました。

処理場での1日平均の状況をみますと市の車での収集量は30.4トン、持ち込みは6.6トンで計37トンになり、処理は焼却が25.3トン、危険物など残り11.7トンを埋め立てています。現在の焼却炉は20トン炉であるため、能力以上の焼却をしていますので、新しい施設ができるまで、できるだけゴミを少なくするよう、より一層の協力をお願いします。

春は交通事故が増えます 入学・入園児の安全訓練を



交差点で交通ルールを教える母親

出しています。これは昭和48年に比べ、件数では28件減っていますが、死者は3人も増えています。

また負傷者の内30人が子供で、前年より、4人減ったものの小学校児童の事故件数や幼児の飛び出し事故は少しも減っていません。

事故の原因の主なものは、ドライバーの前方不注意、わき見運転が45件で一番多く、次いで酒酔い

運転13件となっています。

ことこそ学年末、学期始に交通事故が起こらないよう、運転者は①わき見運転はしない②学校から500m以内のスクールゾーンでは、スピードを落とすことを守って下さい。

また、家庭では今のうちから通学・通園の道をはっきり決めておき、どこが危ない所かを確めて、交通安全の訓練をしておきましょう。

市・県民税の申告は3月15日までです
右表の日程で受け付けを行いますので近くの会場へおいで下さい。

申告されませんと医療費、生命保険料などの各種控除が認められませんが不利になります。

ただし①所得税の確定申告をされる人②昭和50年1月1日現在給与の支払いを受けていて、それ以外に所得のない人は申告の必要がありません。

申告には次のものが必ず必要ですので、持参下さい。

- ①申告用紙②印鑑③家族の生年月日のわかるもの(健康保険証)④昭和49年中に支払った生命保険

料の領収書(1口9,000円以上)それ以下は支払い額を確認できるもの⑤農業者年金・心身障害者扶養共済の加入者はその領収書⑥不動産所得のある人は、その明細書。

忘れずに申告しましょう

市・県民税は3月15日までに

受付日程

- 3月3日 下庄公民館
- 3日 庄林公民館
- 4日 六呂師公民館
- 4日 小山公民館
- 5日 上庄公民館
- 6日 上庄公民館
- 7日 中村町据道場
- 7日 中休公民館
- 10日 市農協富田支所
- 10日 富田公民館
- 11日 阪谷公民館
- 11日 市農協阪谷支所
- 12日 市役所大会議室
- 15日

時間はいずれも午前9時から午後4時までです。

あと1カ月しますと多くの良い子たちが胸を膨らませて小学校へ入学し、またかわいい幼児が幼稚園や保育園に入園します。

でも春の訪れとともに毎年交通事故が増えていますので、今のうちから市民挙げて注意しなければなりません。

大野警察署調べの昨年の交通事故統計によりますと、管内で1年間に199件の事故があり、死者8人、負傷者245人を



② 特別天然記念物

日本カモシカ

本州・四国・九州の高山の常緑針葉樹帯に生息する草食性の動物です。

国ではこれを保護するため、昭和30年2月、特別天然記念物に指定しました。

当市五箇地方・西谷地区の白山支脈にも相当数生息していることは予想されていましたが、昭



和49年9月30日、大野市温見峠(標高1,030m)付近の山中に深傷をうけて倒れていたのを、道路工事の人が発見し収容しました。

医師の手当もむなしく同年10月2日死亡。

文化庁の許可を得て、はく製にして永く保存することとしました。

〈記録〉体重38.2kg、全長1.1m、前足78.3cm、後足79.9cm、胸回り92.4cm、性

別雄、年令5歳

(写真は、はく製にした日本カモシカ)

ことしの農作業賃金決まる

田植えは男 4,200円

市農業委員会は2月5日、ことしの農作業協定賃金を次の表のとおり決めました。労働賃金は物価の上昇や県下の状況などを調査検討して、16.9~50%高になり、機械賃金は18~35%アップになります。

○……農業労働標準賃金

作業別	性別	
	男	女
田植え	4,200円	4,000円
稲刈り	4,200	4,000
一般軽作業	3,500	2,700

単位は1日8時間労働で、まかない別

○……農業機械作業の標準賃料

作業別	区分		機 種	料 金 円
	水田	代かき		
水田耕起			耕 運 機	4,000
			トラクター	2,700
水田代かき			耕 運 機	4,900
			トラクター	3,600
田植え			田植え機	3,900
防 除			背負い動力式	600
稲刈り			バインダー	5,350
			コンバイン	12,000

単位は10アール当たり



◆……消防吏員採用試験は3月15日

消防吏員採用試験を次のとおり行います。希望者は応募下さい。

〈採用予定人数〉 2人

〈受験資格〉 昭和25年4月2日から昭和32年4月1日までに生まれた男子で、高等学校卒業と同等以上の学力のある者
 〈身体の基準〉 おおむね次の基準以上であること。身長 158cm以上、胸囲、身長の2分の1、体重50kg以上、視力 0.3、握力35kg以上、肺活量 3,200立方cm以上、聴力2mの距離で低音が聞きとれる。

〈試験〉 第一次は3月15日(土)午前9時から大野地区消防本部(市役所横)で筆記試験と身体検査。第二次は3月下

旬に同本部で口述試験。

〈申し込み〉 大野地区消防本部にある申し込み書に履歴書・戸籍抄本・健康診断書・写真を添えて、3月13日(木)までに同本部総務課へ提出。

◆……調理員を募集します

市は調理員を次のとおり募集しています。

〈職 種〉 学校の調理員

〈採用資格〉 昭和20年4月2日から昭和32年4月1日までに生まれた者で、調理師の資格がある者。

〈採用人員〉 1人

〈申し込み期日〉 3月15日(土)

〈申し込み方法〉 市教育委員会にある申し込み書に写真を張った履歴書、調理師免許証写を添えて大野市教育委員会庶務課(天神町1~1)へ提出。

交通災害共済に加入を

年額 450円の掛金で「あなたを守る交通災害共済」に加入できます。3月中が受付期間です。申し込みは各区長さんへどうぞ。詳しいことは市生活環境課へお尋ね下さい。

◆……身障者は郵便で不在者投票を

重度の身体障害の有権者に自宅等いながら投票ができる「郵便による不在者投票制度」ができました。該当される方は市選挙管理委員会が交付する「郵便投票証明書」が必要ですので、詳しいことを同委員会事務局(6-1111)へお尋ねになって手続きをして下さい。証明書は交付の日から4年間有効です。

この制度に該当する方は①身体障害者手帳1. 2級の人 ②障害者手帳3級以上の心臓、じん臓、呼吸器に障害のある人 ③戦傷病手帳第2項症以上の人 ④戦傷病手帳第3項症以上の心臓、じん臓呼吸器に障害のある人。

◆……血液の無料化について

輸血を受けた血液の代金を、医療費の一部として病院等医療機関に支払ったときは、これを日本赤十字社が負担し、実質的に血液代金を無料にして、献血者の善意を広く及ぼされることになりました。輸血を受けたときは病院で証明してもらい、福井市月見2丁目4~1福井県赤十字血液センターへ申請書を送れば、血液の負担額が還付されます。

有効期間は1カ年です。詳しいことは市役所厚生課(6-11内線 291)へお尋ね下さい。

る。提携を深めるきっかけとなれば幸いである。

M 生

小池清氏(当市中野町出身)は「三石町史」の序文に記している▼とりわけ歌笛地区は当市とのゆかりが深い。明治二十三年富田地区出身の林小右衛門、猪野毛治郎衛門、林孫衛門の諸氏が最初に移住この人たちの勧誘で大野人は続々入植した。今に残る三石観光のハイライト「越前踊り」は当市のシッチョイナ踊りに似るとい。今度の市長訪問が、北海道各地に転在する郷土出身者との交友を温め

置かれてことしの三月一日で満百年になるので、三石町の開拓に特に関係の深い大野市ほか三町の町長を招いて、開基百年記念式典を挙げ、祖先の労苦をしのび、今後の交友を深めたいので、ぜひ市長に來道してほしいとのこと▼三石町は先に本欄にも紹介した中札内の八田豊氏の居住地と日高山脈を境にした所である。「三石」の地名はアイヌ語で「ピットウシ(小石の多い土地)」という意味である。太平洋に面し、面積三六六・五三平方キロメートル、人口約八千人の町で農漁業中心の安定した町として、また日高山脈を背景に恵まれた自然環境と風土を擁し、観光地としても著名である▼しかし、ここに至るまでの開拓苦難史は、漁業を開いて二百年、その間数多くの先人が厳しい自然と戦い、幾度かの災害にうちのめされながら、不とう不屈の開拓魂を発揮して、その血と汗をもってこの町を築いた……と、現町長



石(みついし)町から次のような文面が届いた。当町に戸長役場が置かれてことしの三月